経　　済　　日　　誌

（5　月　中）

1日　○米供給管理協会，４月のISM景況指数（製造業）を発表
総合指数は52.8ポイントと前月（55.3ポイント）から低下

○米連邦準備制度理事会（FRB），米連邦公開市場委員会（FOMC）を開催（４月30日～）
⑴　政策金利（フェデラルファンドレート）の誘導目標を2.25～2.50％に据置き
⑵　現状の景気認識を「堅調なペースで上昇」と，表現を上方修正（前回３月：「第４四半期の堅調なペースからは減速した」）
⑶　物価について「鈍化し，２％を下回って推移」と表現を変更（前回３月：「２％付近で推移」）
⑷「FOMCは，世界の経済・市場動向及びインフレ圧力の落ち着きを踏まえ，これらの結果をサポートするのに適切なFF金利の目標水準を将来どう調整するかを決めるにあたっては，慎重になる（will be patient）」との文言は変更なし

2日　○イングランド銀行（BOE），金融政策委員会を開催し，政策金利の据置き，資産買入れ枠の現状維持を決定
・政策金利を0.75％に据置き
・資産買入れ枠を維持（4,450億ポンド）

3日　○米労働省，４月の雇用統計を発表
非農業部門の雇用者数は前月比26.3万人増，過去２か月分は修正（３月分は同18.9万人増に下方修正（△0.7万人），２月分は同5.6万人増に上方修正（＋2.3万人））
失業率は3.6％と前月（3.8％）から低下

7日　○自販連，４月の国内新車販売台数を発表
国内新車販売台数（含む軽）は，37万8,687台で前年比＋3.4％と２か月ぶりのプラス
国内新車販売台数（除く軽）は，23万954台で前年比＋2.5％と２か月ぶりのプラス

8日　○中国海関総署，４月の貿易収支を発表
貿易収支は138億ドルと13か月連続の黒字，輸出は1,935億ドルで前年比△2.7％と２か月ぶりのマイナス，輸入は1,797億ドルで前年比＋4.0％と５か月ぶりのプラス

9日　○米商務省，３月の貿易・サービス収支を発表
貿易・サービス収支（国際収支ベース）は△500億ドルとなり，前月（△493億ドル）から赤字額は拡大

10日　○総務省，３月の家計調査（二人以上の世帯）を発表
実質消費支出は前年比＋2.1％と４か月連続の増加，季調済前月比は＋0.1％と２か月ぶりの増加（ともに，調査方法の変更の影響による変動を調整した推計値）
基調判断は「持ち直しの動きがみられる」とし据置き

○厚生労働省，３月の毎月勤労統計（速報）を発表
現金給与総額は前年比△0.1％で20か月ぶりの減少（うち所定内給与は同＋0.5％，所定外給与は同△2.4％，特別給与は同△4.8％）

○米労働省，４月の消費者物価指数を発表
総合指数は前年比＋2.0％，前月比＋0.3％，食品とエネルギーを除いたコア指数は前年比＋2.1％，前月比＋0.1％

○英政府統計局，2019年１－３月期のGDP（速報）を発表
実質GDP成長率は前期比＋0.5％，年率＋2.0％

13日　○内閣府，３月の景気動向指数（CI）（速報）を発表
先行指数は96.3（前月差△0.8ポイント）で２か月ぶりの低下，一致指数は99.6（前月差△0.9ポイント）で２か月ぶりの低下，遅行指数は104.6（前月差＋0.1ポイント）で２か月ぶりの上昇，基調判断は「悪化を示している」とし下方修正

14日　○財務省，３月の国際収支状況（速報）を発表
経常収支は２兆8,479億円，前年比△3,379億円（黒字幅縮小）で57か月連続の黒字

○東京商工リサーチ，４月の全国企業倒産状況を発表
倒産件数は645件（前年比△0.7％）と３か月連続の前年比マイナス，負債総額は1,069億円（同＋11.9％），倒産企業の従業員数は3,417人（同＋2.9％），上場企業倒産は０件

○内閣府，４月の景気ウォッチャー調査を発表
景気の現状判断DIは前月差＋0.5ポイントの45.3となり２か月ぶりの増加，先行き判断DIは前月差△0.2ポイントの48.4となり３か月連続の減少
景気現状の基調判断は「このところ回復に弱さがみられる。先行きについては，海外情勢等に対する懸念がみられる」とし据置き

○内閣府，令和元年第１回経済財政諮問会議を開催
「経済・財政一体改革（地方行財政）」，「金融政策，物価等に関する集中審議」について議論

15日　○日本銀行，４月のマネーストック（速報）を発表
Ｍ２は前年比＋2.6％，Ｍ３は同＋2.2％，広義流動性は同＋2.2％

○東日本建設業保証会社等，４月の公共工事前払金保証統計を発表
公共工事請負金額は前年比＋2.5％で３か月連続のプラス

○米商務省，４月の小売売上高を発表
総合は季調済前月比△0.2％，過去２か月分は修正（３月分は上方修正（前月比＋1.6→＋1.7），２月分は下方修正（前月比△0.2％→△0.3％））
自動車・同部品を除くは同＋0.1％

○米連邦準備制度理事会（FRB），４月の鉱工業生産を発表
生産は季調済前月比△0.5％，過去２ヶ月分は修正（３月分は上方修正（△0.1→＋0.2），２月分は下方修正（前月比＋0.1％→△0.5％））

○独連邦統計局，2019年１－３月期のGDP（速報）を発表
実質GDP成長率は季調済前期比＋0.4％（年率＋1.7％）

16日　○日本銀行，４月の企業物価指数（速報）を発表
前年比＋1.2％となり，28か月連続のプラス

20日　○内閣府，2019年１－３月期のGDP（１次速報）を発表
実質GDP成長率は，季調済前期比＋0.5％（年率換算＋2.1％）となり，２四半期連続のプラス成長
名目GDP成長率は，同＋0.8％（年率換算＋3.3％）となり，
２四半期連続のプラス成長

経　　済　　日　　誌（続）

（5　月　中）

GDPデフレーターは，同＋0.3％となり３四半期連続のプラス，前年比は＋0.2％と４四半期ぶりのプラス

22日　○財務省，４月の貿易統計（速報）を発表
輸出は半導体等製造装置，船舶等が減少し，前年比△2.4％の６兆6,588億円，輸入は原粗油，電算機類（含周辺装置）等が増加し，同＋6.4％の６兆5,983億円，貿易収支は604億円で３か月連続の黒字

○内閣府，３月の機械受注統計を発表
民需（除く船舶・電力）は季調済前月比＋3.8％と２か月連続の増加
基調判断は「足踏みがみられる」とし据置き

○国土交通省，３月の建設総合統計を発表
公共工事出来高は前年比△3.0％で，11か月連続のマイナス

23日　○独連邦統計局，2019年１－３月期GDP（確報）を発表
実質GDP成長率は季調済前期比＋0.4％，年率＋1.7％となり，速報から変更なし

24日　○総務省，４月の消費者物価指数を発表
生鮮除く総合は前年比＋0.9％となり，28か月連続のプラス

○政府，５月の月例経済報告を発表
景気の基調判断を「景気は，輸出や生産の弱さが続いているものの，緩やかに回復している」とし下方修正

31日　○総務省，４月の労働力調査を発表
完全失業率（季調済）は2.4％で前月（2.5％）から低下
雇用者数（原数値）は5,959万人で前年比43万人の増加
完全失業者数（同）は176万人で前年比４万人の減少，23か月連続で200万人を下回った

○厚生労働省，４月の一般職業紹介状況を発表
有効求人倍率（季調済）は1.63倍となり，前月（1.63倍）から横ばい，都道府県別の有効求人倍率（季調済）は31か月連続で受理地別・就業地別ともに，全都道府県で１倍を上回った
雇用情勢の基調判断は「着実に改善が進む中，求人が求職を大幅に上回って推移している」とし据置き

○経済産業省，４月の鉱工業指数（速報）を発表
生産は季調済前月比＋0.6％，出荷は同＋1.7％，在庫は同0.0％
基調判断は「生産は一進一退」とし上方修正

○経済産業省，４月の商業動態統計を発表
小売業販売額は前年比＋0.5％で18か月連続の増加，季調済前月比は＋0.0％で横ばい
基調判断は「一進一退の小売業販売」とし据置き

○国土交通省，４月の建築着工統計を発表
住宅着工総戸数（原数値）は，79,389戸（前年比△5.7％）と５か月ぶりのマイナス，季調済年率は93.1万戸（前月比△5.8％）と３か月ぶりのマイナス

○内閣府，令和元年第２回経済財政諮問会議を開催
「経済・財政一体改革（社会保障②）」，「次世代型行政サービスへの改革」，「骨太方針の骨子案」について議論

○中国国家統計局，５月の製造業PMI（購買部担当者指数）を発表
総合指数は49.4ポイントと前月（50.1ポイント）から低下，景気の拡大・縮小の分岐点である50を３か月ぶりに下回った

東証株価指数（TOPIX）第１部（終値）
　月間最高値　1,599.84（７日）
　〃　最安値　1,512.28（31日）
日経平均株価（終値）
　月間最高値　21,923.72円（７日）
　〃　最安値　20,601.19円（31日）
東京外為市場（ドル・円相場，銀行間直物，17時時点）
　月間最高値　108.78円（31日）
　〃　最安値　110.66円（７日）